



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第15号

令和5年1月10日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆令和5年 新年を迎えるにあたり◆

校長 山口 鉄也

明けましておめでとうございます。2023年、令和5年がスタートしました。本年も昨年と同様に、引き続きこれまでと変わらない本校教育活動へのご理解とご支援の程、よろしく申し上げます。

さて、皆さんはどのようなお正月をお過ごしになったのでしょうか。私は、例年お正月に「箱根駅伝」を見ます。大学生の、仲間を思う気持ちや、走ることへの真っすぐな姿勢に、いつも心打たれます。勝つことだけではない価値を考えさせられる。今年も、それは同じでした。自分なりに頑張っても思うようにいかないこともあります。結果を見て、これからどうしていくかを考えること、それはとても大事なことです。

3月末までの3か月は、皆さんにとって「令和5年度につながる大事な期間」です。冬休み前にお話ししましたが、各自が新たな目標を持ち、勉強、部活動、委員会活動、行事、そして3年生は進路決定に向けて、前に進んでほしいと思います。

今年度は、学校全体として新型コロナ禍に対応しつつ、行事の充実に力を入れてきました。最後までそれを通せるようにしていきたいと思います。特に、3年生を送る会や卒業式は、全校で実施できる最後の行事になります。行事の意味合いをよく理解し、それぞれの人にとって意味のあるものにしていきましょう。

3年生は、卒業後の未来へ。そして、1・2年生は先輩・最上級生となり、自分のことだけでなく、新入生に希望を持たせることができるように。そこにつながる時間を、大事にしていきたいでしょう。

年頭にあたり、今年一年が、皆様にとって素晴らしい年になることを心よりお祈りいたします。

◆新年を迎えての代表生徒のこぼ◆

皆さんの今年の目標はなんですか。私は「自分と向き合い自分をよく知る」「先輩としての自覚を持つ」ということです。なぜこの目標にしたかということ、昨年度私は、部活動と学習面において後悔していることがあります。部活動では、チームみんなとの信頼関係が築けず、周りの目を気にして自分の意思がうまく伝えられないということが数多くありました。学習面では、自分に対してマイナスな発言をして、自分に自信を無くし諦めてばかりでした。なので私は昨年の気弱な性格を無くして、今年の部活動では、日々の練習を真剣に取り組みたいです。そしてチームメンバー同士互いに声をかけ、自分はチームの一員として何ができるのかよく考えていきたいと思っています。また学習面では、他人と比べるのではなく、自分に何が足りなくて勉強をする必要があるのか、マイナスな方向ではなくプラスに考えたいと思います。このように、自分と向き合い自分を知っていくことで新たなことが気付けるかもしれません。しかし、「自分」だけではなく、周囲の人と向き合うということも忘れないようにしたいです。また、4月には1年生が入学してきます。一人の先輩として、立派な姿で1年生を迎えたいと思っています。そのためにはまず、自分が先輩としての自覚を持たなければなりません。基本的な生活態度を改めて見直し、後輩の手本となれる行動を身につけていこうと思います。

1年生代表（1年1組）

私の今年の抱負は個人と学年合わせて三つ立てました。個人の目標は、「計画を立てて勉強をする」と「何事にも挑戦する」の二つです。今まではテストが近くなってから勉強し始めたり、テスト期間に立てた計画通りに勉強できなかったことが多かったです。今年は3年生になり受験があるので、計画通りに勉強して今まで以上に頑張っていきたいと思います。昨年の抱負も「何事にも挑戦する」で、2年生になってから初めての委員会や行事など、色々なことに挑戦してみました。その中でたくさん良い経験をすることができたので、今年も色々なことに挑戦し、さらに成長していきたいです。学年としては、「人に言われなくても自分で考えて行動できるようにする」です。これは2学年の最終目標にもなっています。今の2年生は、係や委員会に慣れてしっかりと仕事をする人が多くなったという良い点が増えました。ですが、仕事をする人が偏ってしまったり、毎日行わない仕事は忘れてしまったりすることもまだあります。2分前着席やその後の自習、授業態度などは12月にコンクールを実施して改善が見られました。しかし、呼びかけがないとできないことがあり、「人に言われなくても自分で考えて行動できるようにする」という目標はまだ達成できていないので、達成することを頑張っていきたいです。先輩方が卒業されると学校の中心になるので、それを理解して学校をうまく支えていけるような学年にしたいです。

2年生代表（2年1組）

みなさんどんな冬休みを過ごしましたか？2023年となり新しい1年が始まり、新しい学年に上がるまで残り僅かとなりました。1年生は先輩に、2年生は最高学年に、そして3年生は高校生となります。多くの3年生は再来週から私立入試が始まり、6週間後からは公立入試が始まります。中学校生活残り僅かとなった今、もう一度自身の生活態度を見直し、卒業時に学年目標でもある「流石」が似合う学年になりたいです。また、今までの先輩方が繋いできたバトンをきれいな状態で後輩達に渡せるよう、最後まで「貝塚中の代表」ということを忘れず気を引き締めていきたいです。そのためにも勉強で周りが見えなくなる時期だからこそ、自身を振り返り1・2年の頃から築き上げてきた日々の当たり前をきちんと行えるよう、最高学年としての自覚を最後まで持ち続けたいです。受験間近となった今だからこそ、最後に全員で団結し、けじめをつけ、後輩たちの心に最後まで「全力疾走」した3年生として残るような生活をしたいです。また、3年生になると「最後の体育祭」「最後の貝塚祭」などと全ての行事に「最後の」という言葉がついてきました。しかしその中で、「初めての中学校卒業式」と数少ない3年生での初めてがこれから行われます。なかには卒業が楽しみな人もいれば悲しい人もいると思います。しかし、最後には全員が貝塚中学校で良かったと思えるようになっていたら良いなと思います。そのために残りの約2か月、勉強や進路関係だけに力を入れるのではなく、学校という場所やこの先離ればなれになる友達や先生との時間を大切に、中学校生活の思い出を最高のものにするための時間にしていきましょう。もう一度みなで協力し、助け合い、支え合いながら生活していきましょう。

3年生代表（3年3組）

◆新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザについて◆

今冬においては、新型コロナウイルス感染症について、昨年夏を上回る感染拡大が生じる可能性があり、加えて、季節性インフルエンザも流行し、より多数の発熱患者が同時に生じる可能性があるとの報道がありました。学校内においても今まで同様感染症対策をしっかりと行っていきます。

新型コロナウイルス感染症と診断を受けた場合、または濃厚接触者となった場合の学校への報告も、今まで同様をお願いいたします。なお、インフルエンザと診断を受けた場合は、十分療養し回復してから登校するようにしてください。その場合、医師の指導のもと、保護者の方が「インフルエンザにおける療養報告書」（千葉市教育委員会保健体育課のHPに書式があります）に療養経過を記入し学校へ提出してください。